

## 国際未来教育基幹

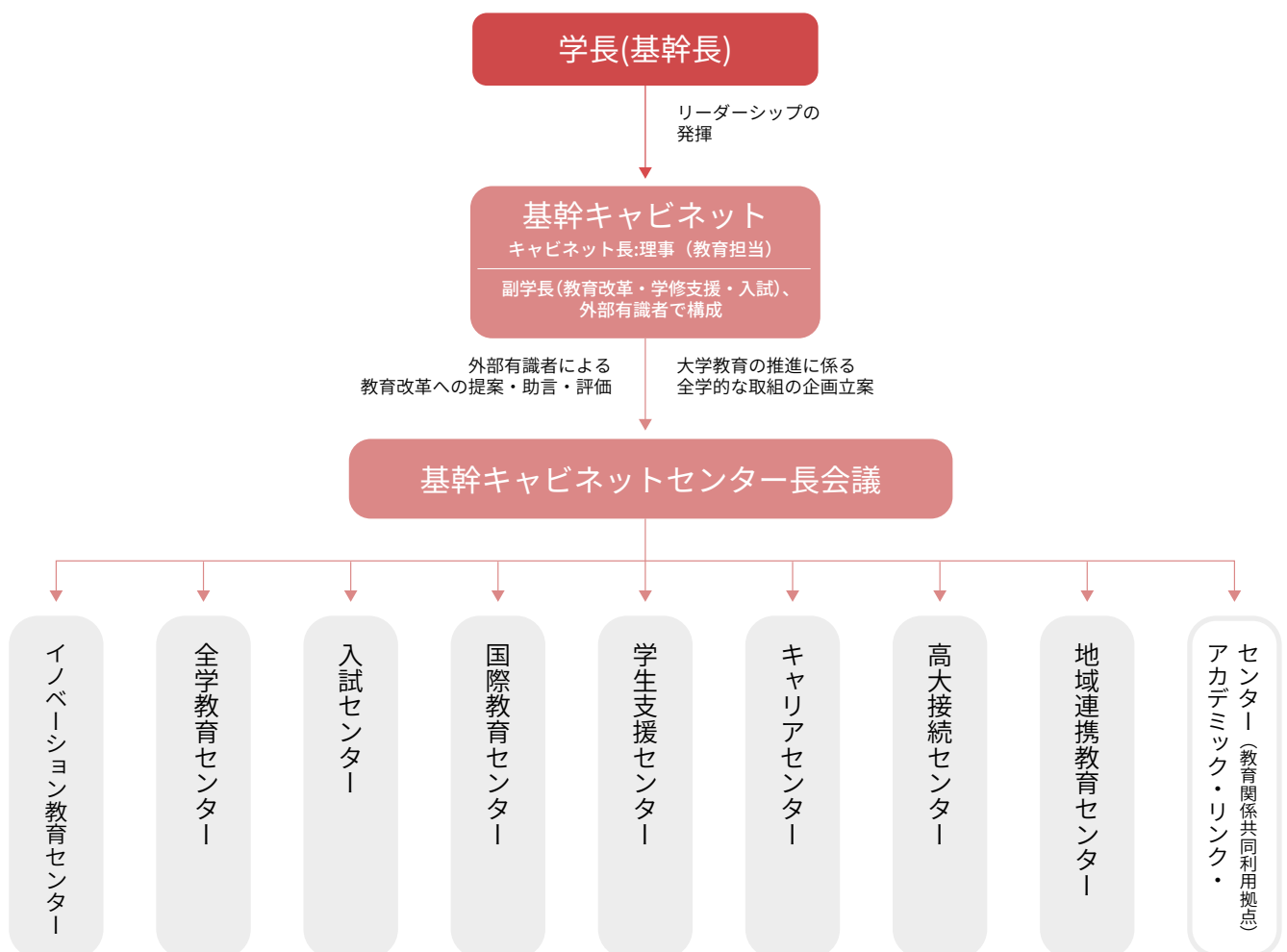
「国際未来教育基幹(基幹長:学長)」を創設することにより、新しい学長のガバナンスを確立し、学長のリーダーシップの下、学士課程から大学院課程を通じて自ら改善、発展する仕組みを構築するとともに、グローバルスタンダード化を実現することによって教育の国際通用性を高め、世界水準の教育実践により、次世代型人材を育成することを目指します。

これを実現するため、平成28年4月に「国際未来教育基幹」を設置し、学長のガバナンス機能の強化を図っております。当面は、基幹キャビネット長に教育担当理事をもって充て、意思決定の円滑化を図ります。さらに、本基幹を実質的に機能させるため、「国際未来教育基幹キャビネット」を設け、海外の高等教育事情や先進的な教育実践に精通している人材(外部有識者)を構成員に加え、本学の教育改革及び先導的プログラムに関する

提案、助言及び評価を実施し、教育のグローバルスタンダードへの対応を推進させる仕組みを導入しました。

また、学長のガバナンスにより、全学教育マネジメント機能を強化し、教育改革を加速化させるため、平成30年4月に全学教育の企画・立案機能を有する「高等教育研究機構」の機能を国際未来教育基幹に統合・再編し、国際未来教育基幹キャビネットの下に配置した9つのセンターを実施機関として、教育改革等の実施や学修・学生支援に取り組んでおります。この取組によって、各般から求められる教学改善を自律的・継続的に行うための「PDCAサイクル」を内部質保証システムとして構築します。

これに併せ、「イノベーション教育センター」を新たに設置し、海外大学の先行事例を踏まえた最先端学習によるスマートラーニングを展開します。



<国際未来教育基幹組織図>